

クビアカツヤカミキリ

防除マニュアル 改訂版



被害は放置せずに早期からの対策を！



吹き出したフラス
(木くずと虫糞の
混じったもの)



被害樹の様子



クビアカ
ツヤカミキリ
♂成虫

注意！

クビアカツヤカミキリの被害が**大きい**果樹



モモ



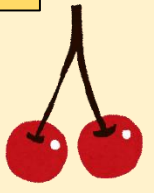
ウメ



スモモ



アンズ



オウトウ

※果樹以外では、サクラ・ハナモモ・観賞用ウメで注意

農地でクビアカツヤカミキリを発見した時の**通報・相談先**

問い合わせ先	電話番号	管轄
北部農業振興事務所 農業振興課	0743-51-0372	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町
中部農林振興事務所 農業振興課	0744-48-3082	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、香芝市、葛城市、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
東部農林振興事務所 農業振興課	0745-82-3248	宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村
南部農林振興事務所 農業振興課	0747-24-0131	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村
病虫害防除所	0744-47-4481	

① 薬剤の予防散布

発生前から実施

6月～8月に約2週間間隔で樹に薬剤を散布する(左下表)

クビアカツヤカミキリ成虫の発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					羽化・飛来						

早期からの実施で
園内に入れない・増やさない

- ・園内の羽化成虫
- ・園外からの飛来成虫
を薬剤で防除する

② 幼虫の捕殺

発生確認後に実施

4～10月にフラスの出ている樹から幼虫を掘り出して捕殺する

フラス
排出口

発見したら

フラスが吹き出す排出口を探す

※千枚通し・針金・金属ブラシなどがあると便利

排出口から樹皮を剥がし

幼虫を見つける

※マイナスドライバーなどを使用

クビアカツヤカミキリに登録のある
主な殺虫剤一覧(令和5年2月1日現在)

薬剤名	ウメ	モモ	スモモ	オウトウ	サクラ
①で利用できる散布剤（成虫に効く剤）					
オリオン水和剤40	○	○	○	—	○
モスピラン顆粒水溶剤	○	○	○	○	○
アクタラ顆粒水溶剤	○	○	○	○	—
ダントツ水溶剤	○	○	○	—	○
テッパン液剤	○	○	○	○	—
②で利用できるスプレー剤（樹の中の幼虫に効く剤）					
ロビンフッド	○	○	○	○	○

—は登録なし 使用前に製剤ラベルの登録内容を確認すること



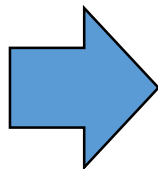
幼虫が出てこない場合は
スプレー剤で殺虫する

③ 伐採

伐採

被害樹を放置すると...

- ・園地内、近隣園地に被害拡大
- ・被害樹が折れて事故発生
- ・モモは2年で枯死も

早期伐採で被害拡大を
食い止める

切株の処理

幼虫が入っている場合も
あるので切株も処理する

伐根

2～3年続ける

または

被覆



被覆の様子

切った樹はすぐ処分

木材内部の幼虫・蛹を
まとめて処分する

焼却

または

破碎



1cm角以下に

④ ネット被覆

伐採できない場合に実施

伐採できない樹は**ネット**を巻いて産卵・羽化成虫の分散を防止

ネットの目合い
産卵防止：0.4mm
分散防止：4mm

少しゆとりを
もって張る
(噛切り防止)

ネット端は内に折って
地面に隙間ができない
ようにペグで留める

脱出しないよう
隙間なく地面から
2 m程度

ネットを巻いた後は定期的に見回り、成虫がいれば捕殺する

クビアカツヤカミキリ対策の組み立て方

早期発見
早期対策

第1段階
発生直前

第2段階
発生開始

第3段階
多発

- ・地域内や近隣で発生
- ・園内では未発生

- ・園内で発生開始
- ・フラスはまだ少ない

- ・園内で多発
- ・大量のフラス排出

薬剤の予防散布

幼虫の捕殺
スプレー剤

ネット被覆

伐採

対策が遅れると
手数が増える！

ここで止めよう！

クビアカツヤカミキリかな？と思ったら

① 被害を見る 樹から出るフラスを観察する



あちこちから
噴き出す

株元に大量に
積もる

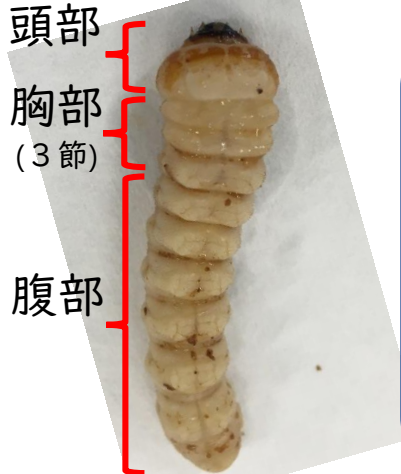


② 幼虫を見る

被害樹から掘り出した幼虫を観察する

クビアカツヤカミキリ

間違いやすい別の幼虫

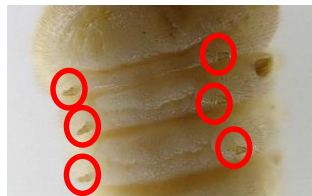


頭部



白色

胸部



脚あり

頭部



褐色

コスカシバ

胸部



脚なし

ゴマダラカミキリ